

いきいき通信

vol.26
 発行：左京西部
 いきいき市民活動センター
 発行日：2018年9月15日



ようせい夏まつり2018

昨年につき、夏のお祭りを盛況のうちに終えることが出来ました！関わって頂いた皆さま、ありがとうございました。実行委員になって下さる方も増え、お祭りの幅が広がりました。引き続きこのお祭りが続いて、盆踊りを楽しむ輪が大きくなることを期待しています。どうか、これからもよろしくをお願いします。



MC 藤武ハジメ



アベコーボ



KMN48 x 楠坂46



福寿奏



マタヒバチ



おかえり姉妹



サンポーヨシ
蓬莱家徳丸一門会



こどもスペース

わたしの盆踊りエピソード写真展

私たちはこれまでも、高齢者に昔のお話を聞かせていただく事業を行ってきました。これらは「回想法」という手法を用いたもので、高齢者を元気にする効果があるといわれています。今回は、お話しいただくテーマを「盆踊り」と決め、夏まつりの開催時期に合わせて、お聞かせ頂いたお話を市内3箇所(左京西部・左京東部いきいき市民活動センター、大谷大学「響流館」)で展示しました。聞き取り役には、大谷大学社会学部の学生さんにも入っていただき、その結果を展示と同時に冊子にしました。直接お年寄りから聞くお話は学生さんにも刺激になったようです。昔の盆踊りで仮装大会があったというようなエピソードは、これからの盆踊りに活かせる可能性を感じるものでした。



大谷大学「響流館」での展示の様子



実際の聞き取りの様子



←「わたしの盆踊り」
 盆踊りについて聞き取らせて頂いたお話を冊子にまとめました。左京西部いきいき市民活動センターで配布しています！

ホームレスと「きょうと夜まわりの会」

最近鴨川の河川敷でホームレスのテントを見なくなりしました。ホームレスの人たちはどうなったのでしょうか。お話を伺った『きょうと夜まわりの会』(以下、夜まわりの会)の活動をご紹介します。ホームレスについて考えてみようと思います。

一活動紹介

「624」という数字が2003年に記録されて以来、京都市のホームレスの数は年々減少傾向にあります。しかし、現在もなお80人近くの人達が野外で生活しています。

夜まわりの会は1985年の結成から今まで、ホームレスに寄り添い続けています。団体名にある「夜まわり」とは夜に行う巡回相談のことで、現在は週に2回、京都市内を巡回しています。その他にも、福祉事務所などへの窓口相談の同行や、関係機関と協力した様々な支援を通して、ホームレス問題と向き合っています。

一『見えなくなった』ホームレス

ホームレスは大阪や東京といった日雇労働者が集まる大都市に多いイメージがありますが、1990

年代から続く景気後退や非正規雇用の拡大に伴って全国の路上に野宿者が現れるようになりました。各地では、夜まわりの会のような市民による野宿者支援の活動が起こりました。行政の対応も進み、専用の施設が整備されていった結果、先ほども言ったようにホームレスの数自体は減少しています。

しかし、その「数」とは、あくまで明らかに外で寝ている人の数のことで、施設で生活する人や、「ネットカフェ難民」という言葉で代表されるような24時間営業の店で夜を過ごす人はその数に入っていません。また、「寄せ場」と呼ばれる場所に集まらずとも、ネットでその日の仕事を探せるようになったという労働市場の変化もあり、ホームレスやそこに陥りやすい人が同じ場所に集まることが少なくなりました。そうした事情を踏まえると、ホームレスはいなくなったのではなく、「見えなくなった」というのがより正しい表現なのかもしれません。

一何がホームレスを生み出すのか

現在も路上で生活している人達に、夜まわりの会は現在も継続的な支援を行っています。しかし、現状、まだ多くの路上生活者が存在するように、相談を受けてすぐに路上から脱することができそうな人ばかりではありません。雇用環境・家

族関係など、自己責任だけとは言い難い理由で、それぞれの人それぞれの経緯でホームレス生活を余儀なくされています。支援側としては、個人の抱える問題に対応できるような多様な支援メニューを用意して、粘り強く寄り添っていく必要がある、と夜まわりの会の代表・本田さんは言います。

しかし、変わる必要があるのは支援者だけなのでしょうか。僕が生活する「普通」の社会がホームレスを生み出しているのであれば、ホームレスを生み出さない社会へと変えていかなければならない、あるいは自分自身が変わっていかなくてはならないのではないかと。

夜まわりの会にお話を伺う中で、自分と社会について思いを馳せてみました。

一岡田 真太郎 センタースタッフ、大学でホームレス支援の地域差について研究中



1月20日に東本願寺・烏丸通内緑地で開催されたもちつき大会の様子。



主催 At-Kyoto



バディウォーク@京都2018

9/23(日) 11:00-16:00 岡崎公園芝生広場



photo 新多正典

「バディウォーク®」は、ダウン症児者も、そうでない人も、ともに参加出来る世界的なチャリティウォーキングイベントです。日本では2012年に東京で、そして2014年から京都でスタート。その後、仙台、横浜、名古屋、福岡と広がり、2018年は大阪でも開催されます。

主催団体のAt-Kyoto (旧称・京都ニンジャムキッズ)は、バディウォークを、ダウン症に直接関わる人だけでなく「ダウン症につながる仲間たちと共に」楽しさ、面白さを優先に制作しています。

本番当日は、ライブあり、美味しい食べ物あり、ワークショップあり、誰もが気軽に楽しめる空間になること間違いなしです。昨年は私も参加しましたが、会場の皆さんがとてもいい笑顔をされていて、とても幸せな雰囲気が漂っていました。皆さんもぜひ参加してみてください。(丸木伸洋)



昨年度の模様はyoutubeで!
バディウォーク@京都2017
で検索!

